

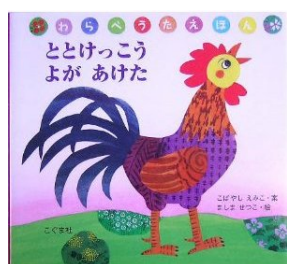
1 生まれる前～0歳のころ のおすすめ絵本



いない いない ばあ

松谷 みよ子／文 瀬川 康男／絵 (童心社)

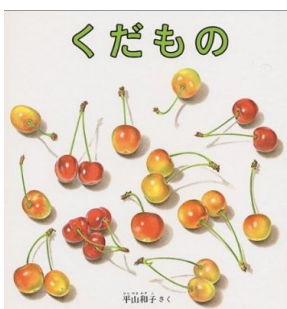
にやあにや、くまちゃん、こんこんぎつね…かわいい動物たちが次々と「いないいないばあ」と笑いかけてきます。あかちゃんと一緒に遊んでみませんか？きっとお気に入りの1冊になりますよ。



ととけっこう よが あけた (わらべうたえほん)

こばやし えみこ／案 ましま せつこ／絵 (こぐま社)

「ととけっこう よが あけた ○○○ おきてきな」というわらべうたにのせて、親どりがいろいろな動物を起こしていきます。あかちゃんにやさしく歌ってあげましょう。



くだもの

平山 和子／作 (福音館書店)

ページいっぱいに描かれたすいか、もも、ぶどう…。みずみずしい果物の絵は本物のよう。「さあどうぞ」とすすめられると思わず食べたくなってしまいます。あかちゃんと一緒に、もぐもぐと遊んでください。



じゃあじゃあびりびり

まつい のりこ／作 (偕成社)

「じどうしゃ ぶーぶーぶーぶー」「いぬ わんわんわんわん」「らっば ぷっぷっぷー」。ページをめくるたびにいろいろな音に出会えます。はっきりした絵とわかりやすい言葉、あかちゃんの好きなものがそろっています。



おつきさまこんばんは

林 明子／作 (福音館書店)

まん丸の大きなお月様が夜の空に上がってきました。ところが雲さんがお月様を隠してしまい、お月様は泣きそうです。最後がどうなるかわかっていても、あかちゃんは喜びます。何度も読んであげてくださいね。



がたん ごとん がたん ごとん

安西 水丸／作 (福音館書店)

がたんごとんがたんごとんと、列車が走ります。お客さんは、ほ乳瓶やカップやスプーンたち。さて、どこへ行くのでしょうか？あかちゃんは繰り返す言葉が大好きです。リズム良く読んであげましょう。



きゅっ きゅっ きゅっ

林 明子／作 (福音館書店)

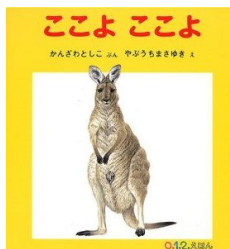
スープをこぼしてしまったぬいぐるみのお友だちを、あかちゃんがきゅっきゅっきゅっとふいてあげます。ご飯の時は、この絵本のよう、あかちゃんのお口をふいてあげましょう。きっと喜びます。



くっついた

三浦 太郎／作 (こぐま社)

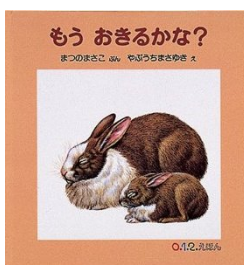
離れている2ひきの動物が、ページをめくるとくっついた！最後は、おかあさんと子ども、おとうさんも一緒にくっついた！ほっぺとほっぺをくっつけて、家族みんなが幸せになる絵本です。



ここよ ここよ

かんざわ としこ／文 やぶうち まさゆき／絵 (福音館書店)

「どこにいるの？」と聞くと、「ここよここよ」とあかちゃんが出てきます。「どこにいるの？」と問いかけるページには、必ずあかちゃんが少し見えています。隠れているあかちゃんを一緒に探すのも楽しいですね。



もう おきるかな？

まつの まさこ／文 やぶうち まさゆき／絵 (福音館書店)

動物の親子が寝ています。「もうおきるかな？」とページをめくると「あー、おきた！」。のびをしたりあくびをしたり、表情豊かに起き上がります。はっきりした絵があかちゃんの目にもわかりやすい絵本です。

2 お誕生日をむかえたら のおすすめ絵本



どうぶつのおかあさん

小森 厚／作 藪内 正幸／絵（福音館書店）

動物のお母さんが、口にくわえたり、おなかの袋に入れたりして、子どもたちを運びます。鼻で押して歩かせるのはお母さん象。画面いっぱいのリアルな絵とともに楽しみましょう。



のせて のせて

松谷 みよ子／文 東光寺 啓／絵（童心社）

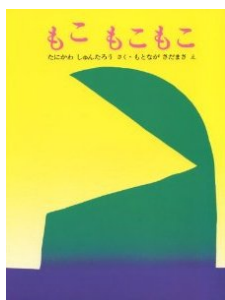
まこちゃんの運転する自動車に、「のせてのせて」と動物たちが手をあげます。うさぎにくま、ねずみのお母さんと子ねずみたち。みんなを乗せたまこちゃんの自動車が走ります。「さあ、いくぞ、びゅーん」



しろくまちゃんのほっとけーき

わかやま けん／作（こぐま社）

しろくまちゃんがホットケーキを作ります。「ぼたあん だろどろ ぴちぴち ちゃけたかな」「まあまだ」おいしそうに焼けていく場面に、思わず引き込まれます。



もこ もこもこ

谷川 俊太郎／作 元永 定正／絵（文研出版）

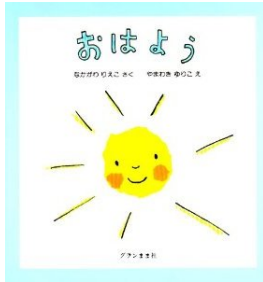
しーんとした大地から、もこもこもこと大きくなったものは…。色鮮やかな絵とともにリズムカルな言葉が、子どもをくぎづけにしてくれます。不思議な世界を親子で楽しんでください。



おさじさん

松谷 みよ子／作 東光寺 啓／絵（童心社）

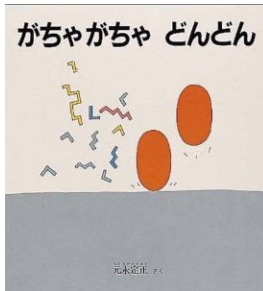
うさぎのぼうやのところへ、おさじさんがやってきました。頼もしいおさじさんは熱いおかゆも平気。お口に運んでもらって「ああ おいしい」と笑顔があふれます。リズムカルな言葉が心地良く響きます。



おはよう

なかがわ りえこ／作 やまわき ゆりこ／絵（グランママ社）

朝です。おひさまが目をさまし、雲のおふとんをぬいで大あくび。歯をみがいて顔を洗ったら、元気に「おはよう」とみんなを照らします。1日を心地良く、楽しくスタートさせてくれる絵本です。



がちゃがちゃ どんどん

元永 定正／作（福音館書店）

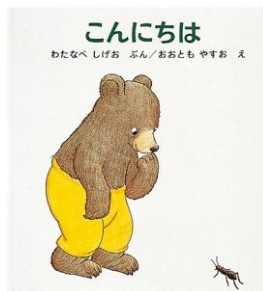
子どもは音にとっても敏感です。「がちゃがちゃ どんどん かーんかーん」いろいろな音を、単純な形と鮮やかな色使いで描いた絵本です。小さなお子さんも楽しめます。



きんぎょが にげた

五味 太郎／作／絵（福音館書店）

カーテン、花、おもちゃ…あちらこちらに紛れ込んだきんぎょを、「どこににげた」と探します。鮮やかな絵も楽しく、指差しができるようになったら親子で遊べる1冊です。



こんにちは

わたなべ しげお／作 おおとも やすお／絵（福音館書店）

「おはなさんこんにちは」「すずめさんこんにちは」出会うみんなに呼びかけるくまくん。最後はお父さんに抱っこで「こんにちは」と言ってもらって大満足。言葉でふれあうことの喜びが伝わります。



だれかしら

多田 ヒロシ／作／絵（文化出版局）

誕生日、「とんとんとん」とドアをたたいて次々にお友だちがやってきました。ドアののぞき窓から少しだけ見えるお友だちはだれかしら？わくわく想像がふくらみます。



ぶーぶー じどうしゃ

山本 忠敬／作／絵（福音館書店）

いろいろな自動車がページいっぱい描かれています。「ぶーぶー」「うーうー」などの擬音が子どもは大好き。本物の迫力が伝わる、しかも温かみのある絵も魅力です。